

令和4年度

事業報告

令和４年度は、前年度に引き続き、交通信号施設工事に係る諸問題を調査研究し、交通信号施設工事に係る施工技術の向上及び経営の合理化の促進を図るため、

- 調査研究事業
- 普及事業
- 技能検定事業
- 技術講習事業
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業

について実施した。

1 業務運営に関する主な行事

主な行事は、次のとおりである。

(1) 監事監査 令和４年４月１２日（火）

(2) 定時総会 令和４年６月 ９日（木）

開催方式：出席者を限定し、定款第１９条による「書面表決等」により実施

審議事項：令和３年度事業報告及び決算報告並びに監査報告に関する件外１件

(3) 理事会

審議事項

(第１回) 令和４年５月１２日（木）：集合及びオンラインにより実施

・令和４年度定時総会の開催に関する件外３件

(第２回) 令和４年６月 ９日（木）：集合及びオンラインにより実施

・参与の委嘱に関する件

(第３回) 令和４年１１月１０日（木）：集合及びオンラインにより実施

・令和５年度技能検定試験及び移行講習に係る基本方針に関する件外２件

(第４回) 令和５年３月２日（木）：集合及びオンラインにより実施

・令和５年度事業計画及び収支予算に関する件外４件

(みなし決議) 令和４年１０月１１日（火）：書面により実施

・法人名称の変更に伴う各規程の該当部分の一括修正に関する件

(4) 委員会

ア 総務委員会

協会における事業計画に係る課題の推進、定款、規程等改正に伴う検討及び各委員会の取組状況の報告により確認・調整を図った。

委員会は、Zoom 使用によるオンライン方式で実施した。

イ 広報委員会

当協会ホームページの効果的運営、広報誌発行、情報収集活動、会員募集活動を推

進した。

ウ 防災対応委員会

福島県、岐阜県、滋賀県で開催された管区警察局広域緊急援助隊合同訓練及び兵庫県警察総合災害警備訓練に協力した。

[詳細は、2「事業の概要」(5)「その他この法人の目的を達成するための事業」工項「広域緊急援助隊合同訓練に協力」及びオ項「兵庫県警察総合災害警備訓練に協力」に記載]

エ 技能検定委員会

技能検定試験は、全国8都市で新制度による新技能検定試験を実施するとともに、旧資格から新資格への移行講習を実施した。

[詳細は、2「事業の概要」(3)「技能検定事業」ア項「技能検定試験の実施」及びイ項「旧資格から新資格への移行講習の実施」に記載]

オ 中部地区委員会の創設

南海トラフ地震のような大規模な広域災害発生時は、中部地区内の複数県の県で極めて広域かつ甚大な被害の発生が予想されている。

このため、各県警察と個別に協定を締結して備えるには限界があり、中部管区警察局、管区内各県警察本部、中部地区の全信工協会会員が包括的に協定を締結するなどして、被災交通信号施設の復旧に係る協力体制を確立する必要があることから、令和5年1月16日に中部地区正会員17社により準備委員会を発足し、令和5年3月3日の第4回理事会において「全信工中部地区委員会」設置を承認した。

2 事業の概要

(1) 調査研究事業

ア 「交通信号機を活用した5Gネットワークの構築」の全国展開に協力

2019～2021年度の3年間にわたり、政府の官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)において、「交通信号機を活用した5Gネットワークの構築」について研究・検討がなされ、一定の成果をもって終了したが、「社会実装のためには中長期視点でさらに検討を深める必要があるとして、令和4年8月、産官学連携による「交通インフラDX推進コンソーシアム」が設立された。

本会は、このコンソーシアムに正会員として入会し、技術検討委員会における「柱の高度化」等の検討に参画した。

なお、コンソーシアムにおける検討に参画するにあたり、本会の技術委員会の下に「5G対応部会」を設置し、希望のあった会員の皆さんに部会委員として参加してもらい、10月25日に第1回「5G対応部会」を開催した。

イ 交通信号用可搬型LPガス発電設備のあり方に関する検討

災害等により滅灯した信号機の仮復旧用として使用可能な可搬型LPガス発電設備のあり方について、技術委員会の下に部会を設けて検討を行った。

ウ 交通信号工事の生産性に資する調査研究

令和4年8月総務委員会の下に「交通信号工事工法等検討会」を設置し、警視庁交通部交通管制課課長代理及び公益社団法人日本交通管理技術協会研究部参事に委員委嘱し、希望のあった会員に検討会委員として参加してもらい、令和5年2月24日に第1回検討会を開催した。

(2) 普及事業

ア 経営事項審査における確認書類の発行

防災対応要綱（理事会規程第8号）第7条経営事項審査における「確認書類」の交付を希望する会員12社に対し、「災害協定証明書」を13件発行した。

イ ガス供給機器メーカーとタイアップして実用化したポータブルガス発電機の普及

交通信号用可搬型LPガス発電機関連の防音BOX、折畳式コンポジット容器設置ケースがほぼ完成したため、9月15日にデモ運転及び模擬的に外気温実験等を行った。

その後、ガス供給機器メーカーにおける温度上昇試験により、夏季の路上での使用においてもLPガス容器が40℃以下に保たれる（高圧ガス保安法に規定）ことが確認され、また、令和5年2月9日に滋賀県で実施された近畿管区広域緊急援助隊合同訓練において、同LPガス発電機を使用した信号機滅灯対策訓練が実施された。

(3) 技能検定事業

技能検定委員会の下に「試験問題部会」、「試験実施部会」及び「移行講習部会」の三つの部会を設けて取り組んだ。

ア 技能検定試験の実施

令和4年9月4日（日）に全国8都市（札幌市、仙台市、長野市、名古屋市、大阪市、広島市、熊本市）で技能検定試験を実施した。

また、協会ホームページに試験問題を掲載するとともに、受験者に合否通知及び点数を通知した。

受験者及び合格者数は、次表のとおりである。

資格名	受験者数	合格者数	合格率（％）
交通信号技士	65	24	37
交通信号工事士	84	29	35
交通信号設計士	7	4	57
交通信号監理士	18	10	56
交通信号診断士	46	42	91
計	220	109	50

イ 旧資格から新資格への移行講習の実施

「交通信号工事士」への移行講習は6月に、「交通信号設計士」、「交通信号監理士」及び「交通信号診断士」への移行講習を7月に実施した。

資格別の実施日、実施回数、受講者数は次表のとおりである。

資格名	実施日	実施回数	受講者数
交通信号工事士	6月13日～29日	10	370
交通信号設計士	7月4日、5日	2	37
交通信号監理士	7月6日、7日	2	61
交通信号診断士	7月11日、12日	2	81
計	—	16	549

(4) 技術講習事業

ア 産業廃棄物処理講習会の実施

交通信号工事における産業廃棄物を適切に管理・処理することを目的に5月11日に東京都立産業貿易センターにおいて産業廃棄物処理講習会を実施した。来賓として警視庁交通管制課管理官に来ていただくとともに、外部講師を招き、対面講習及びオンライン講習により実施した。

対面講習は31名、オンライン講習は48名の計79名が参加した。

イ 第一級陸上特殊無線技士及び第二級陸上特殊無線技士受験対策用eラーニング講座の実施

今後、交通信号柱に4G、5Gの無線装置が設置され、交通管制用として無線通信回線の利用が進むと予想されることから、第一級陸上特殊無線技士及び第二級陸上特殊無線技士受験対策用eラーニング講座を実施した。

① 第二級陸上特殊無線技士

開講日：4月27日～6月19日 7週間のコース

受講者数：27人

② 第一級陸上特殊無線技士

開講日：令和5年3月27日～6月7日 10週間のコース

受講者数：43人

(5) その他この法人の目的を達成するための事業

ア 広報活動

(ア) 広報誌発行

全信工ニュース第29号を令和4年4月6日、第30号は6月10日、31号を12月16日に計3回発行し、都道府県警察等行政機関には郵送し、会員にはメーリングリストにより配布し、あわせてホームページに掲載した。

(イ) 会員募集活動の推進

理事長、各理事及び広報委員会が中心となり、入会を勧めた結果3社新規入会した。一方、退会は8社あり、年度末における会員数は200社となった。

イ WEB 会議システムを活用した会員との情報共有の推進

令和4年5月中旬、交通信号機を活用した5Gネットワークの構築に向けた動向、信号制御機等の供給不足等による信号工事への影響等について、本会会員と執行部の意見交換と情報共有を図ることを目的に、地区単位のWEB会議を開催した。

ウ 信号制御機等の供給不足等による信号工事への影響に関する調査

前年度に引き続き調査を行い、令和4年4月、前年度の調査結果と合わせて警察庁に報告するとともに、全信工ニュース第30号により本会会員にフィードバックした。

エ 広域緊急援助隊合同訓練に協力

(ア) 岐阜県で実施された中部管区警察局広域緊急援助隊合同訓練に協力

- ① 期日：令和4年11月7日、8日
- ② 場所：岐阜県羽島郡笠松町米野堤外地内 岐阜県笠松町多目的運動場
- ③ 訓練内容：仮設信号機運用訓練

(イ) 福島県で実施された北海道・東北管区警察局広域緊急援助隊合同訓練に協力。

- ① 期日：令和4年11月29日、30日
- ② 場所：福島県南相馬市原町区本町2丁目27番地 福島ロボットテストフィールド
- ③ 訓練内容：仮設信号機の点灯復旧訓練

(ウ) 滋賀県で実施された近畿管区警察局広域緊急援助隊合同訓練に協力。

- ① 期日：令和5年2月9日
- ② 場所：滋賀県蒲生郡日野町北脇1-3 機動警察隊
- ③ 訓練内容：信号機減灯対策訓練

オ 兵庫県警察総合災害警備訓練に協力

- ① 期日：令和5年1月24日
- ② 場所：兵庫県三木市市染町御坂1-19 兵庫県防災センター
- ③ 訓練内容：信号機減灯対策訓練

カ 全信工協会主催講習のCPD 認定プログラム化の推進

本会会員等のCPD単位の取得を支援することを目的に、技術講習事業として実施する各種講習及び交通信号工事士等資格の更新講習について、これらをCPD認定プログラムにする取り組みを進め、令和5年3月27日に開講した「第一級陸上特殊無線技士受験対策用eラーニング講座」について、「無線通信（中級）」eラーニング講座として本会の会員以外も受講可能な講座とし、一般財団法人建設業振興基金のCPDプログラムとしての認定を得た。